

大内力 オウチノチカラ 農業経済学者。大正七年六月十九日東京生まれ、平成一十一年四月十八日没（一九八一—二〇一九）。大内共衛の長男。昭和十七年東京帝國大學経済学部卒。日本農業研究所所員、東大社会科専攻研究所助教を経て、二十五年同大教授、のち信州大教授。

著譯書 『日本における農業と資本主義—共同研究』（宇野弘藏・鈴木鴻一郎

・齋藤晴造共著、昭和二十二年六月二十日實業之日本社）、『インゲル

ス著』ドイツ農民戦争』（譯、昭和二十五年九月二十日岩波書店）『岩

波又庫』（、『農業問題』（昭和二十六年四月二十日岩波書店）『岩

波又庫』（、『抵抗の學堂生活』（合著、昭和二十六年九月二十日要

書房）、『危機はいつ来るか』（合著・吉野源二郎編、昭和二十

九年二月二十日厚文社）、マルクス著『経済学批判』（共訳、昭和

二十一年五月二十五日岩波書店）『岩波文庫』（、『現代史—日本の百

年』全二冊（合著・林茂編、上巻・昭和二十二年八月十日、下巻・七

月十日毎日新聞社）、『人生の道標—若くは友への手紙』（合著・一人

生年帖）編集部編、昭和二十四年二月十日文理書院）、『社会主義日

本の設計』（合著・社会主義政策

研究会編、昭和二十五年一月二十

五日至誠堂）『現代人叢書』（、『ラ

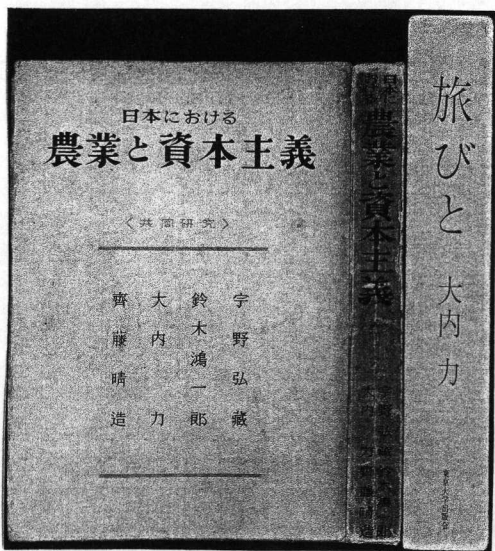
サールス著『間接税と労働者階級』

（訳、昭和二十五年五月二十日

岩波書店）『岩波文

庫』（、『マルクス

・インゲルス著『農業論集』（編訳、昭和四十八年五



旅びと 大内力

月刊「白岩波書店」「岩波文庫」( )、月刊「本豊美論」(昭和五十二年二月)  
月刊「白岩波書店」( )、月刊「旅心」(昭和五十二年六月十九日東京大  
学出版会)等。